



あべこういち 千葉県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

稲毛区の皆さまと共に

千葉県議会議員 阿部 統一

稲毛区の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと存じます。旧年中は、私の県政活動に温かいご指導とご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、私は昨年に引き続いて「人々が安心して暮らせる安全な街づくり」と「誰もが夢と希望の持てる福祉の充実した社会づくり」という理念を基に、志と勇気と情熱をもって、生活者主権の県政をさらに進めるため、県政活動に取り組んでまいります。

昨年は、日ごろの皆さまからの政策や施策全般にわたるご意見、ご要望、ご助言等を県政に反映させるため、**2月、9月、12月議会**と年四回のうち三回の質問の機会を獲得し、堂本知事並びに各部局長に強く訴え、前向きな答弁を引き出しました。

紙面の都合で、一部になりますが①すべての中学一年で36人学級の前向きな検討②学校給食の新たな安全確保③救命機器 (AED) の普及促進④県政策評価の外部評価導入⑤子育て支援、保育行政のさらなる取り組み⑥震災時の医療体制⑦千葉市に対する県の補助金の不公平是正等であります。

また、議会運営委員長として、議会改革に取り組んできた一年でした。地方自治における二代表制の一翼を担う議会も、地方分権が進む中でさらに民主的、公正な議会運営を図るため、議会の権能を高めていかなければなりません。常任委員会等の会議録の録音や逐語記録及びその公開、委員会規則の改正、視察報告のホームページ公開等、今までできなかった改革を断行してまいりました。

県議は、県民の信託によって行動し、その利益は県民にすべて還元するという極めて当たり前のことが成されることこそ、健全な地方の発展の基本であると、私は信じています。これからも皆さまのために燃え尽きる覚悟ですので、さらなるご指導とご支援をお願い申し上げます。



12月議会でも登壇し、一般質問を行う阿部統一県議

政策評価制度を厳しく批判

千葉市稲毛区特集 12月県議会一般質問

安心・安全の街づくりを公約に掲げ、県議会でも厚い信頼を集める千葉市・稲毛区選出の阿部統一(あべ・こういち)県議は、12月議会でも一般質問に登壇し、県の政策評価制度は十分に機能していないのではないかと、厳しく指摘しました。堂本知事も「大変鋭い見解で、真摯に受け止めたい」と異例の答弁を行うほどでした。阿部県議は、議会運営委員長など重責を果たしながら、開かれた県議会の実現に向け、着実に実績を挙げています。その他の質疑と合わせ、1、2面で特集します。

阿部議員 厳しい財政状況の中で、限られた財源を県民のために有効に生かすには、**県民の視点**に立つて、すべての施策、事業の検証、

は、十分に機能していないと思わざるを得ません。アクションプランのような重要施策については、政策評価委員会で施策・事業そのものの中身を検証すべきと思うがどうか。

堂本知事 阿部議員は、政策評価について、大変鋭い見解をお示しくださいました。真摯に受け止めたいと思います。

今後は、さらに政策評価委員会の意見や議会での議論も参考に、政策評価委員会の役割を含め、政策評価がより効果的、効率的に行われるよう、前向きに検討してまいります。

ランの中からいくつかの施策を選択し、当該施策の目的や必要性、有効性などの説明を担当課長から行ったうえで、より適切な指標、目標の立て方などについて議論し、指導をいただいています。

点検が必要であり、県の重点施策や重点事業については、外部評価を加えて、政策評価を高めていくことが重要です。

県の政策評価実施要綱や事務取扱要領の目的や評価を見ると、アクションプランについては、所管課長等が評価することになっており、いずれも100%近い評価であり、事業の縮小や見直し、廃止はほとんどなく、こうした結果が客観的で公平な評価なのかどうか、疑問です。

なぜなら、自分たちで企画立案した施策・事業を自分たちで実施し、自分たちで評価することは、評価の公平性や客観性に欠け、県民の視点から見れば、到底納得できるものではありません。

こうしたことから判断すると、現在の政策評価制度

あべこういち 県議

プロフィール

経歴

昭和18年7月 生まれ(〇型・獅子座)
昭和37年3月 市川学園高校卒業
昭和41年3月 明治大学卒業
平成3年4月 千葉市議初当選
平成7年4月 県議選初当選(県議選連続4選)
商工労働社会常任委員長・文教常任委員長・議会運営委員長

現職

千葉県議会 商工労働企業常任委員会委員
千葉県 都市計画審議会委員
自民党県議会 生活衛生議員連盟会長
自民党県議会 介護問題対策議員連盟会長
自民党県議会 商工議員連盟会長
自民党千葉県連財務委員長
自民党千葉市連合支部長

県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見を聞かせてください

あべこういち 県事務所

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401
TEL 043-287-8595
FAX 043-285-2192

ホームページ <http://abe-kouichi.com/>

公職選挙法の規定により年末年始のご挨拶失礼させていただきますことを御容赦下さいませ。

千葉市稲毛区特集

ジョブカフェ事業継続も

非正規労働者への支援求め

計画の見直しと体制作りを

阿部議員 県は「千葉県次世代育成支援行動計画」を平成十七年度に策定したが、現在の行動計画はどのような体制で進めているのか。また、計画の見直しはどのような体制で行うのか。健康福祉部長 次世代育成支援行動計画は「すべての子どもと子育て家庭の育ちを地域のみならず支える」を基本理念に掲げ、平成十七年三月に策定したところ。この計画を総合的、かつ効果的に推進するため、県では知事を本部長とする全庁横断的な「推進本部」を設置し、庁内の連携体制を強化しています。また、民間の有識者からなる「次世代育成支援対策推進する千葉県民会議」と、同会議のもとに「推進作業部会」を設置して、計画の着実な実施に取り組んでいます。

今年度は「推進作業部会」を「評価・策定作業部会」に改め、事業の評価・検証を実施したうえで、計画の見直しに取り組んでまいります。

要望 千葉県の少子化対策に抜本的に取り組んでいく具体策として、こ

保育士の専門性向上に努力

阿部議員 保育士の役割の多様化に伴い、保育士の専門性の向上をどのように進めているのか。健康福祉部長 近年、障害のある子どもや、体調不良の子どもへの保育、食育の

の行動計画はあらゆる部局にまたがる広範囲な計画です。庁内横断的な窓口となる体制を作っていたきたい。

緊急雇用対策の実施を

阿部議員 今後、景気の悪化により、企業から解雇される労働者が増加すると見込まれるが、県はどのように支援していくのか。堂本知事 私どもも緊急対策を立てなければ、と検討してきましたが、県と千葉労働局が合同で緊急雇用対策本部を設置することを決めたところです。議員ご指摘のとおり、雇用情勢は大変悪化しております。

非正規の方が再雇用されない場合の雇止めが、自動車産業などの製造業で非常に増えています。千葉県では今のところ、二百人となっており、全国的には三十



堂本知事へ福祉関係の予算要望をする
阿部一県議(右から2人目) 知事室で

関係する情報の収集と共有すること。リストアップや解雇された非正規労働者に対する再就職支援に関する情報の周知や協力などです。県としては、緊急時の雇用対策として「ジョブカフェちば」に緊急就業相談窓口を設置するとともに、「労働相談センター」での夜間緊急相談の実施を決めたところであります。

雇止め対策で要望

阿部議員 非正規労働者の雇止め対策を実施するとの答弁があったが、こうした答弁を評価するものです。ぜひともきめ細かな対策を打っていただくことを要望します。

九月にジョブカフェちばで話を聞いてきました。全国から視察がきて、評判がいいそうです。しかし、国の支援措置が今年度限りでなくなってしまうとサビの低下につながると心配していました。県が財政面でカバーすれば、事業継続ができるのでぜひお願いしたい。



本会議場の自席から再質問する阿部県議

要望 保育士に対する専門知識習得を提供するほか、研修事業の充実と合わせ、保育環境の整備のための財政的支援を要望する。

12月県議会一般質問

信頼と実行力！

県政へ全力投球

あべこう一県議

あべこう一県議

10の公約

着実な進捗をみせています

- 安全安心な街づくりの実現
- 医療・福祉の充実
- 教育改革
- 行政改革の推進
- 子育て支援と女性施策の推進
- 環境にやさしい街づくりの実現
- 県経済の活性化と雇用創出の推進
- 徹底した情報公開の推進
- 交通安全対策の充実
- 公共事業の入札・契約制度の見直し

(平成19年4月選挙に於いて)